

「宇宙はどれくらい広いのか?」「宇宙の始まりはいったい何なのか?」などという、誰でも疑問に感じるものが知りたいと思い、この研修を選択しました。講義では、いくつかのテーマに沿った事柄をお話して頂きました。特に印象に残っているのは、宇宙の歴史(昔の宇宙の姿)を探るというテーマです。それは、光の速さの関係で、何億年も先の星を見るということは、何億年も前の姿を見ているという内容でした。過去を見ているということは、タイムスリップを連想させられました。さらに宇宙のスケールの大きさを改めて感じさせられました。また、今回の講師、アシスタントの方の研究生活の話もおもしろく、このジャンルに関わらず、大学での勉強についてなどを知ることができ、とても参考になりました。宇宙には、まだまだ気の遠くなるような謎が多く、分からないことがたくさんあります。(正直分からないことが多かったです。)ですが、そこも宇宙の魅力なのではないかと思います。また、興味がわきました。よかったです。[1年男子]

最初は映像で見た宇宙の大きさにただ驚いていただけだったけれど、宇宙の様々な現象はどういうことが原因で起きているのかは難しかったけれど、感覚的に少し分かった?ような気はしました。私は国立天文台へ行って毎日研究していると大学生から聞いて、自分の好きなことに毎日没頭することができるなんて、うらやましいと思った反面、生き生きしている大学生の姿を見たら、私も何か1つに熱中してみたいと強く思いました。この講座で興味深いなぁと思ったのは、宇宙はだんだん広がっている(伸びている)という不思議な現象と、宇宙の果てはどうなっているのかということでした。話を聞き、分かったように思っていたのですが、時間が経ってから思い出してみると、あまり分かっていなかったので、大学で宇宙について研究してみるのもおもしろいなぁと思いました。宇宙をもっと理解するには、まず基礎知識が必要だなぁと思ったので、私は高校の勉強を頑張ろうと思いました。[1年女子]

この研修を通して感じたことは、地球はとてもかけがいのないものであるということです。宇宙は気が遠くなるほど果てしなく(実際気が遠くなった)、しかし未だ地球と同様に生物の住める星が見つからないところをみると、地球ってすごいなぁと改めて感じました。研修でシミュレーションした宇宙の大きさを測るプログラムは、とても分かりやすく宇宙のことを教えてくれました。また、天体観測で山頂へ行った体験を話してくれたとき、このような職業も、とても神秘的で楽しいものではないかなと思いました。自分は理系でなく文系なので、天文学には進めないのですが、自分で宇宙のことについて考えてみようかなと思いました。また、さらに科学が進歩して、宇宙の果てを観測できるようになるように、先生方には頑張ってもらいたいと思います。[2年男子]

去年も宇宙に関するテーマを取った。去年のもとてもおもしろかったが、今年は去年よりも実は興味のある内容で、とても楽しむことができた。事前学習で見た「ある地点から10×m離れた位置から見てみると」というものを見て、現在分かっている宇宙の大きさでもかなり大きいなと思った。考えられない距離があり、とてもびっくりした。一生のうちでは移動できないことが分かり、人間はとてもみじめな存在なんだとつくづく思った。だが、現在分かっているものだけで、あの大きさなので、本当の宇宙の大きさは人知を超えたものであると思った。前々からビッグバンやブラックホールなどに興味があって、この時にいろいろ聞いてよかった。ビッグバンが起こる前に何もなかった、というのが不思議で、全く想像のできない世界なんではないかと思う。あと、関係ないけど、アシスタントの人が自身について語っているとき、講師の人と話したり、写真を撮ってもらったりして、結構楽しかった。来年は3年なので、もうないが、また聞きたい。とても面白いものが見れたり聞いて、いい経験になった。[2年男子]

私は昔から宇宙に興味があったので、この講座をとりました。先生は2人共大学院で宇宙について研究している方でした。今回のお話を聞いて改めて感じたのですが、宇宙は本当に広いなと思います。私たちが住んでいる地球は太陽系の中にあり、その太陽系は銀河系の端のほうにあり、また、その銀河が集まって大きな銀河団があり...、終わりのない世界だと思います。一番印象に残ったのは、遠くを見るということは過去を見るということです。本当に不思議で、考え出したら止まりません。もし素晴らしい機能をもつ望遠鏡があれば、宇宙ができる瞬間も見ることができないではないかと思います。宇宙についてはまだまだ分からないことがたくさんあるようですが、これから色々なことを解明していき、どうやってビッグバンは起こったのか、宇宙には果てがあるのか、などが分かるようになるといいなと思います。また、先生達は研究生活の話なども話してくれて、すごく参考になりました。今回の講座の話将来に役立てられるといいなと思います。先生が紹介してくれた本もぜひ読んでみようと思います。[2年女子]

大学院の方のお話を聞けるということで、楽しみにしていました。結構長い時間の講演でしたが、大変面白いお話でしたので、全く長くは感じられませんでした。「MITAKA」というソフトで宇宙を案内して下さったのが、立体的で本当におもしろいものでした。月に行くには飛行機で2週間、さらに太陽までは17年もかかるというのに、驚きました。また、天文単位の意味も知ることができたり、他にも遠くを見るということは、昔を見るということであるということも知りました。遠くの星から地球を見るとまだ原始人だそうなので、遠くから地球を見てみたいと思いました。10年後には今よりももっと大きな望遠鏡ができるということなので、ぜひ見に行きたいと思います。小野さんの日々のお話では、本当に天

文学が好きなのだなぁと思わせる生活ぶりでした。土曜日も日曜日も研究についやすという素晴らしい生活。自分の好きなことを思いっきりできるなんて、うらやましいです。私もはやく好きなことを見つけて、没頭できる準備を整えていきたいと思いました。講師の方ともお話しできて良かったです。[2年女子]

宇宙については興味があって少し本を読んだことがあったのですが、その内容について、もっと深められたので良かったです。今回話を聞いて、改めて宇宙は本当に広いんだということが実感できました。その広さもいつも感じている広いという感覚とはかけ離れていて、想像してもそれでは足りないくらいなんだと分かりました。そう考えると、人間なんてちっぽけな存在が宇宙を調べることは、すごく大変なことなんだなと思いました。それでも今までこれだけのことが分かってきたので、発見した人達は本当にすごい人だったんだと思います。広大な宇宙のすべてを知ることは、人類が絶滅する頃になってもできないくらい果てのないことなんだと思います。でも果てのないことを考えるのは、人生でいつまでも飽きないことだろうと思うので、それを追いつけることは素晴らしいことなんだと思いました。また、大学と大学院の話も聞けて良かったです。特に、大学院には興味があったけれど、どんな生活なのか全く知らなかったのが分かって良かったです。これからの進路を決めるときに役立てていきたいと思います。[2年女子]